

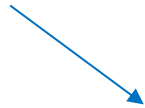











野菜の生育状況及び価格見通し（平成26年12月）について
 （東京都中央卸売市場における主産県及び卸売会社からの聞き取りによる）

（総論）

品目	現在の生育状況
根菜類 (だいこん、にんじん)	生育は、概ね順調。
葉茎菜類 (はくさい、キャベツ等)	生育は、概ね順調。
果菜類 (きゅうり、なす等)	生育は、概ね順調。
土物類 (ばれいしょ、さといも、 たまねぎ)	生育は、概ね順調。

（各論）

品目	主産県 (※()書きは 昨年12月の入荷 シェア。)	今後の生育及び出荷見通し	価格見通し (平年比)	
			12月上旬	12月中旬
だいこん	千葉(47%) 神奈川(42%)	・生育は概ね順調であり、 <u>出荷数量、価格ともに概ね平年並</u> になる見込み。	→	→
にんじん	千葉(80%) 埼玉(7%)	・ <u>前半</u> にあつては、主産地において生育期の適度な降雨等により、肥大が進んでおり、 <u>出荷数量が平年を上回るため、価格は平年を下回る</u> 見込み。 ・ <u>後半</u> にあつては、 <u>出荷数量、価格ともに概ね平年並</u> になる見込み。	↘	→

はくさい	茨城(92%)	<ul style="list-style-type: none"> 前半にあつては、主産地において生育期の適度な降雨等により、肥大が進んでおり、<u>出荷数量が平年を上回る</u>ため、<u>価格は平年を下回る</u>見込み。 後半にあつては、<u>出荷数量、価格ともに概ね平年並</u>になる見込み。 ただし、今後気温が低下し、鍋需要が増加すれば、価格が上昇する可能性。 		
キャベツ	愛知(50%) 千葉(32%)	<ul style="list-style-type: none"> 生育は概ね順調であり、<u>出荷数量、価格ともに概ね平年並</u>になる見込み。 		
ほうれんそう	群馬(39%) 埼玉(17%)	<ul style="list-style-type: none"> 生育は概ね順調であり、<u>出荷数量、価格ともに概ね平年並</u>になる見込み。 ただし、ほうれんそうは特に低温などの気象変化の影響を敏感に受けやすい品目であるため、今後の気象によっては、価格は平年を上回る可能性。 		
ねぎ	千葉(21%) 埼玉(20%)	<ul style="list-style-type: none"> 生育は概ね順調であり、<u>出荷数量、価格ともに概ね平年並</u>になる見込み。 		
レタス	静岡(30%) 茨城(17%)	<ul style="list-style-type: none"> 一部産地では、10月の台風18号の大雨に伴う定植遅れ等の影響が見られるものの、全体的には生育は概ね順調であり、<u>出荷数量、価格ともに概ね平年並</u>になる見込み。 ただし、レタスは特に低温などの気象変化の影響を敏感に受けやすい品目であるため、今後の気象によっては、価格は平年を上回る可能性。 		
きゅうり	宮崎(40%) 千葉(18%)	<ul style="list-style-type: none"> 生育は概ね順調であり、<u>出荷数量、価格ともに概ね平年並</u>になる見込み。 		

なす	高知(60%) 福岡(22%)	・生育は概ね順調であり、 <u>出荷数量、価格ともに概ね平年並</u> になる見込み。	→	→
トマト	熊本(46%) 愛知(20%)	・生育は概ね順調であり、 <u>出荷数量、価格ともに概ね平年並</u> になる見込み。	→	→
ピーマン	宮崎(33%) 茨城(26%)	・生育は概ね順調であり、 <u>出荷数量、価格ともに概ね平年並</u> になる見込み。	→	→
ばれいしょ	北海道(87%) 長崎(13%)	・収量は平年を上回り、 <u>出荷数量が平年を上回るため、価格は平年を下回る</u> 見込み。	↘	↘
さといも	埼玉(60%) 千葉(16%)	・生育は概ね順調であり、 <u>出荷数量、価格ともに概ね平年並</u> になる見込み。	→	→
たまねぎ	北海道(88%)	・収量は概ね平年並であり、 <u>出荷数量、価格ともに概ね平年並</u> になる見込み。	→	→